

平成28年度の教育活動等に対する学校評価書

平成29年3月25日

認定こども園曙幼稚園 園長 草分 由子  
学校関係者評価委員会 会長 勝亦 誠司

1 保育方針

たくましく生きる子どもを育てよう（眼を放すな、手を離せ）

2 本年度の重点目標

- (1) 心身の健康を培うため積極的に活動する
- (2) 集団生活のルールを知り思いやりの心を育てる
- (3) 自分で考え行動し豊かな創造性を養う
- (4) 意欲的に遊び人と関わる楽しさを育てる

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価点 4（あてはまる）、3（大体あてはまる）、2（あまりあてはまらない）、1（あてはまらない）、※（その他）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員	
	評価点	園としての反省と改善策	評価点	意見
子ども達の長所を見つけ伸ばすことに重点を置く	4	日々の記録を参考にして子どもの実態を把握しているが、保育者が客観的に子どもを見る目を養うよう努めなければならない	4	認め、誉め、励ますことで一人一人の良さを認める努力をしてほしい
自ら考え、自主的、自立的に行動できる園児を育成するために環境構成し指導を行う	3	園児が興味をもって自ら遊び考える環境や指導に努めた 教育活動や園児の姿についての情報の共有を深める必要性を感じた	4	各学年の発達状況に応じた指導がされ、教職員が確認し適切に対処している
登園時の視診など日常の健康に気を付け家庭との連携、予防の取り組みを行う	4	園児一人ひとりの健康状況を意識するとともに、手洗い、お茶うがい、虫歯予防、水分補給などを行い、健康管理に努めている	4	健康管理は家庭との連携が大切なので連携強化を図ってほしい
園内研修が企画、実施され日々の保育に活かし資質の向上に役立つようにする	5	今年度は県の公開保育指定園になり、園内研修や企画を教職員間でしっかり行い、公開保育も実施され学びも多く資質向上に役立った次年度に反省を活かしていきたい	5	園内研修をはじめ多くの学びの時間や指導を受け、大変な年であったが、資質の向上につながる良い経験ができ今後の教育・保育に活かされると思う

